

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 9 日 (2017.3.9)

【公開番号】特開 2017-2293 (P2017-2293A)

【公開日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2017-001

【出願番号】特願 2016-112702 (P2016-112702)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 133/04

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 3 日 (2017.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

携帯電子機器の表示部または表示部保護部材を筐体に固定するための固定部材であって

、

発泡体基材と、該発泡体基材の少なくとも一方の面に配置された粘着剤層とを含み、

前記固定部材は、幅 2 . 0 mm 未満の細幅部を有し、

前記固定部材の内縁により区画された窓部の面積 A o が前記固定部材の面積 A f の 5 倍以上であり、

前記固定部材は、前記細幅部の平均幅 W [mm] と、該固定部材の 1 0 0 % モジュラス M [N / mm² 基材] と、前記発泡体基材の厚さ H s [mm] との関係が次式： 0 . 4 / (M × H s) W ; を満たす、固定部材。

【請求項 2】

前記窓部の面積 A o が前記固定部材の面積 A f の 2 0 倍以上 である、請求項 1 に記載の固定部材。

【請求項 3】

前記細幅部の平均幅 W [mm] が、該細幅部における前記固定部材の厚さ H f [mm] の 1 . 0 倍以上である、請求項 1 または 2 に記載の固定部材。

【請求項 4】

前記 1 0 0 % モジュラス M [N / mm² 基材] と前記発泡体基材の厚さ H s [mm] との関係が 0 . 5 0 M × H s を満たす、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の固定部材。

。

【請求項 5】

継ぎ目のない環状に形成されている、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の固定部材

。

【請求項 6】

前記発泡体基材の一方の面および他方の面に粘着剤層を有する両面粘着性固定部材として構成されている、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の固定部材。

【請求項 7】

前記発泡体基材は、ポリオレフィン系発泡体基材である、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の固定部材。

【請求項 8】

前記粘着剤層は、アクリル系ポリマーをベースポリマーとする粘着剤層である、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の固定部材。

【請求項 9】

前記発泡体基材の厚さ H_s が 0.05 mm 以上 0.30 mm 以下である、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の固定部材。

【請求項 10】

前記細幅部の平均幅 W [mm] が 1.0 mm 未満である、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の固定部材。

【請求項 11】

表示部または表示部保護部材と、

前記表示部または表示部保護部材が固定された筐体と、

前記表示部と前記筐体との間、あるいは表示部保護部材と前記筐体との間に介在する固定部材と

を含む携帯電子機器であって、

前記固定部材は、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の固定部材であり、

前記表示部と前記筐体、あるいは前記表示部保護部材と前記筐体とは、前記固定部材を含むシール部により液密に接合されている、携帯電子機器。